

主な議案

6月定例会で審議した主な議案の概要は次のとおりです。

平成30年度補正予算

○30年度静岡市一般会計補正予算(第2号)

地方創生として、生涯活躍のまち静岡(CCRC)を推進するため、地域多世代交流型住宅の整備に向けた検討に要する経費のほか、安心・安全として、橋りょうの補修や道路の防災点検に要する経費などの増額を計上しました。

この結果、補正予算の総額は、18億8,921万円の増額となり、補正額を加えた累計予算額は、3,141億6,909万円となります。

静岡市税条例

○静岡市税条例等の一部改正について

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、個人市民税に係る非課税範囲の見直し等について、所要の改正をするものです。

静岡市放課後児童健全育成事業

○静岡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準省令の改正に伴い、放課後児童健全育成事業所に置く放課後児童支援員の資格要件について、所要の改正をするものです。

長田体育館

○静岡市体育館条例の一部改正について

長田体育館のアリーナへ冷暖房設備を設置することに伴い、アリーナの冷暖房設備を利用する場合に加算する利用料金を新たに設定するため、所要の改正をするものです。

清水清見潟公園体育館

○静岡市都市公園条例の一部改正について

清水清見潟公園の体育館へ冷暖房設備を設置することに伴い、体育館の冷暖房設備を利用する場合に加算する利用料金を新たに設定するため、所要の改正をするものです。

適応指導教室

○静岡市適応指導教室条例の一部改正について

適応指導教室を駿河区に設置するとともに、不登校児童等の定義を改めるため、所要の改正をするものです。

町の新設

○町の新設について

長田地区の住居表示の実施に伴い、町を新設するものです。

常任委員長報告

各常任委員会に付託された議案等の審査結果について、それぞれの常任委員長が報告しました。各常任委員長報告における委員の意見や要望の主なものは次のとおりです。

総務委員会

*静岡市税条例の一部改正について、今回の条例改正は幅広い方々が対象となるため、納税者等に対し、丁寧に説明していくこと。また、税制改正は毎年のように行われているが、適用年度が一律ではなく複雑になっており、誤課税のリスクも高まっているため、ミスのないよう、チェック体制を整えていくこと。

厚生委員会

- *生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業について、他の自治体の先進事例となるように進めること。また、近隣自治会、ボランティアなどを巻き込んだ地域の活動と交流の拠点としての活用の検討や多様な世帯が一緒に暮らせるまちづくりに行政が積極的に取り組むこと。
- *静岡市旅館業法等施行条例の一部改正について、本市の観光を支える方々の声も聴きながら、交流人口の増加や社会環境に合った条例整備に努め、関係する事業者へ丁寧に説明と広報を行うとともに、施設の安全性が担保されるよう、行政としての責任を果たしていくこと。
- *放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について、共働きの子育て世代が増加する中で放課後児童クラブの重要性が増しているため、支援員・補助員を確保するサポートや処遇等の改善を図り、待機児童の早期解消に努めること。
- *不登校児童等に対応するための適応指導教室条例の一部改正について、駿河区に新たに整備される教室に期待するとともに、利用者への対応や施設の環境整備に努めること。

都市建設委員会

- *JR草薙駅周辺整備の道路改修等の整備推進に当たっては、周辺住民の方々や学校、企業等と連携し、安全対策と渋滞解消につながるよう整備を進めること。
- *日本平公園整備事業について、案内看板等に市産材(オクシズ材)を活用するとともに、清水区側から日本平に登る旧道で眺望を楽しめる場所の整備や山頂までの交通アクセスの検討をすること。
- *木造住宅耐震補強事業費助成について、耐震工事を行うまでの手続きの簡素化を迅速に検討すること。また、わかりやすく丁寧な説明で市民に周知すること。
- *主要地方道清水富士宮線道路築造工事について、工事の着実な進捗や交通渋滞の低減を図ること。また、観光客等の玄関口となる道路をシティプロモーションなどに活用する新たな方策を検討すること。

市民環境教育委員会

- *清掃工場における余剰電力売り払い業務について、電力自由化の流れに沿った判断だったとはいえ、日本ロジテック協同組合の破産に伴い大きな収入の欠損を出したことの教訓を生かして、再発防止策の徹底や危機管理体制の整備を行うこと。
- *清水ストックヤード建設事業清水清掃工場解体工事に際し、周辺住民の生活に影響を及ぼさないよう、適切な対応を行うこと。また、解体後は、地元の皆さんに喜ばれるような土地活用を行うこと。
- *町の新設について、地元住民の声を反映した親しみの持てる町名となるよう、話し合いに努めること。

観光文化経済委員会

- *葵区田代の林道東俣線の災害復旧事業について、早期復旧に努めるとともに、南アルプス登山客等への復旧工事中の二次災害を防ぐよう、車両通行時などの安全確保を行うこと。また、豪雨後に臨時でバトロールを行うなど林道の安全管理をさらに徹底すること。
- *冷暖房設備設置に係る市営体育館等の条例改正について、設置工事に際し利用を制限する場合は、他の体育館を案内するなど利用者に配慮して事業を進めること。また、今後、物価や燃料費等の高騰などによる利用料金の見直しの際には、利用者に極力負担がかからないような対応を検討すること。さらに、当該施設整備を機会に、スポーツにより親しむ環境づくりを推進すること。

企業消防委員会

- *水の相互運用事業について、地元住民、工事事業者の安全確保を第一に工事を進めること。濁水時には、飲料水の安定供給は非常に重要であるため、計画どおり供用開始できるように事業を進めること。また、給水管工事中の工作機に地下に埋設していた流木が詰まり工事に若干の遅れが生じているが、今後は同様のことが起こらないよう、事前の対策をとること。
- *消防車両の購入について、消防の広域化により、車両の購入を一括して行うことで経費削減につながっていることを評価する。今後は同一車種だけでなく、異なる車種の一括発注など、さらなるコスト削減手法を検討すること。また、消防広域化により管理すべき車両が増加したが、車両を遺漏なく維持管理・更新していくこと。さらに、今回購入する高機能車両がそれぞれ十分に活用されるよう、署員のスキルアップを進めること。

陳情審査結果

4件の陳情が審査され、結果は次のとおりです。

件名	結果
「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」の提出を求める陳情書	不採択
「若い人も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書」提出の陳情書	不採択
地方消費者行政に対する財政措置(交付金等)の継続・拡充に関する陳情	採択
生活保護基準額の引き下げに係る影響緩和への取り組みに関する陳情	不採択

議員研修会

市議会では、議員の政策立案能力の一層の向上を目指して、議員研修会を実施しています。

7月9日、静岡市観光交流文化局の中村羊一郎歴史文化拠点推進監(専門委員)を講師に、本市が目指す5大構想の一つである「歴史文化の拠点づくり」の実現に向けた取組の参考とするため、「歴史文化のまちづくり～その意義と進め方～」と題した研修会を開催しました。

